

表3 昭和57年度芸術セミナー実施状況

部門	期 日	場 所	参加人員
文学	5月27日 ～5月29日	会津若松市 文化福祉センター	57人
彫塑	8月5日 ～8月7日	福島女子高等学校	40人
演劇	8月19日 ～8月21日	須賀川市文化センター	56人
工芸	9月30日 ～10月2日	矢吹町中央公民館	43人
合唱	11月4日 ～11月6日	いわき市文化センター	66人

表4 こども芸術劇場及び  
青少年芸術劇場実施状況

区分	公 演 種 目	公演団体	期 日	会 場
こども 芸術 劇場	児童劇公演 「大どろぼうホッツ エンプロッツ」	劇団仲間	8月4日	いわき市小名浜 市民会館
青 少 年 芸 術 劇 場	寄席芸能 出演：春風亭柳昇 桂文朝 春風亭小柳枝 雷門助三ほか	落語芸術 協会	7月24日	会津若松 市民会館
			7月25日	郡山市民会館
	オペラ 「蝶々夫人」 指揮：佐藤功太郎 管弦楽：新星日本交 響楽団 出演：平田恭子、前 沢悦子、浦野せ子 林 誠ほか	二期会 オペラ 振興会	7月24日	福島県文化 センター

表5 昭和57年度移動芸術祭巡回公演

区分	公 演 種 目	公演団体	期 日	会 場
春 季 公 演	一新劇公演一 「三文オペラ」 出演：大塚国夫、児 玉謙次、立沢雅人 上杉二美ほか	劇団 青年座	6月22日	会津若松 市民会館
秋 季 公 演	一バレエ公演一 「眠れる森の美女」 (全幕) チャイコフスキー 作曲	チャイコ フスキー 記念東京 バレエ団	9月12日	須賀川市 文化セン ター
	一歌舞伎公演一 ●平家女護島俊寛 ●御目見得口上 ●京鹿子娘道成寺	松竹大歌 舞伎	11月7日	二本松市 文化セン ター
	一能楽公演一 ●狂言「棒 縛」 ●能「葵 上」	能楽協会	11月23日	いわき市 平市民会 館

歳に比べ六・七若返っている。本年度の受賞作品は表6のとおりであるが、二年連続して該当者がなかった短歌部門を除き、三人の文学賞は全員女性を受賞することになり、文学賞募集開始以来初めてのケースとなった。なお、受賞作品集である「県文学集 30」は昭和五十八年三月発行を予定している。

九 「こども芸術劇場」と「青少年芸術劇場」  
こどもや青少年に対し、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の醸成を図る趣旨で、文化庁が派遣する我が国一流の舞台芸術公演を県内四市において開催した。

施しているものである。本年度は、文学、彫塑、演劇、工芸、合唱の五部門を実施したが、開催地区を中心として県内各地より参加者があり、文化活動に携わる人々の研修の場として、好評を博した。

十 移動芸術祭巡回公演  
この行事は文化庁が派遣する中央の優れた舞台公演を春、秋にわたって実施し、芸術鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化の振興を図る趣旨で開催されるものである。  
本年は表5のとおり実施され、各会場とも非常に好評であった。

十一 第三十五回福島県文学賞  
広く県民から作品を公募して、優秀な作品を顕彰するとともに、本県文学の振興を図る趣旨で昭和二十三年度から始められた県文学賞も、本年度で第

三十五回目を迎えた。  
本年度の県文学賞は、五月上旬に募集を開始し八月五日に締切り、小説、詩、短歌、俳句の四部門に二百二十一点の応募があった。これは昨年度の二百十一点に比べて若干多くなっており、ここ数年連続して応募数が二百点を越えていることは、本賞が県民文学活動の身近な発表の場として定着しているといえよう。  
本年度の応募内訳を見ると、小説五十五点、詩六十八点、短歌三十四点、俳句六十四点となっており、昨年と比べ詩が十一ポイント増えているのが目立つ。年齢別では十三歳から八十七歳までと応募者の幅の広さが見られ、平均年齢も四十一・二歳と昨年の四十七・九



工 芸 部 門 (矢吹町中央公民館)